
あかつき証券(株) 2024年3月期 第1四半期 決算説明

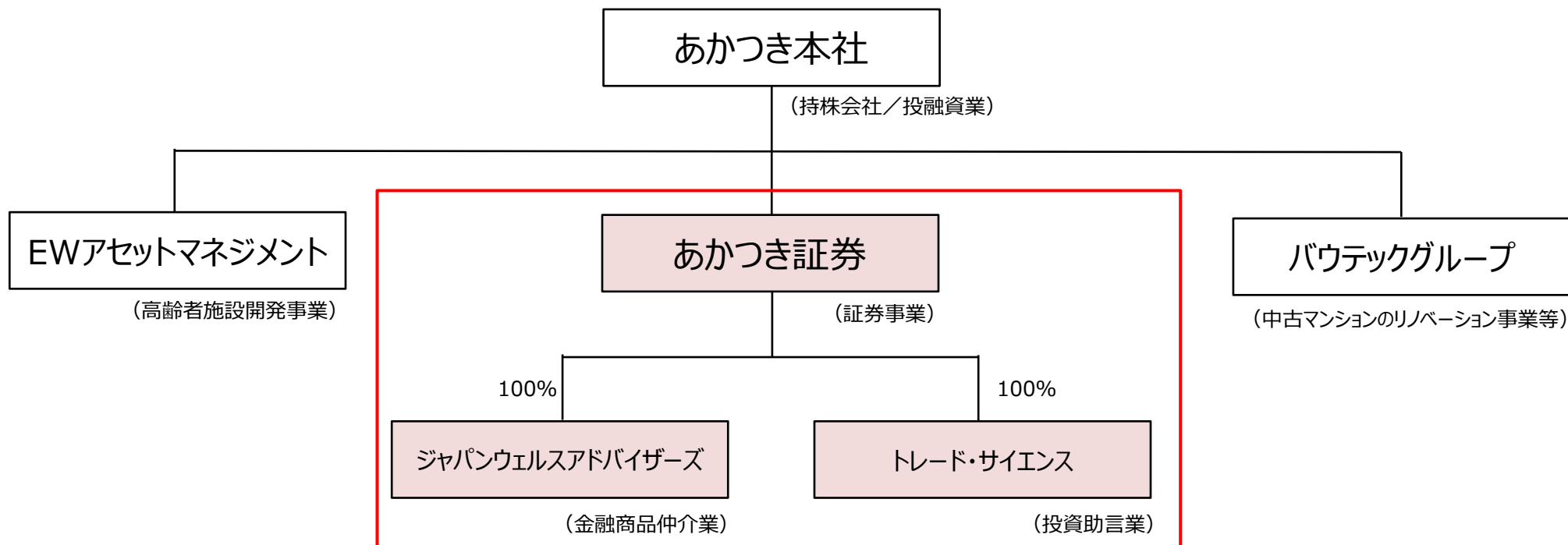
本資料は、2024年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2023年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要

◆ (参考) 連結対象について

■ あかつき本社グループ構成図 (2023年6月末現在、主要グループ会社のみ記載)



あかつき証券連結範囲

- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化。

◆2024年3月期 第1四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は4,466億円（前期末比11.6%増）、IFA部門の預り資産残高は2,456億円（前期末比13.8%増）と過去最高となった。顧客からの入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は140億円の純増と順調に増加している。また、契約仲介業者外務員数も1,463名（前期末比+16名）と増加した。
- ✓ 営業収益は3,155百万円（前年同期比34.0%増）となった。株券委託手数料および投資信託販売手数料の増加により受入手数は1,439百万円（同100.8%増）、トレーディング損益は1,684百万円（同3.5%増）となり、増収となった。
- ✓ 販売費・一般管理費は2,754百万円（前年同期比11.5%増）となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が2,002百万円と前年同期比20.0%増加した一方、固定費は752百万円と前年同期比6.1%減少した。
- ✓ 当四半期の営業利益は373百万円（前年同期比+491百万円）、経常利益は450百万円（同+ 547百万円）、当期純利益は305百万円（同+353百万円）となり、黒字転換した。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

2. 2024年3月期 第1四半期決算（連結）について

◆ 営業損益の状況

- ✓ 当社100%子会社の金融商品仲介業者であるジャパンウェルアドバイザーズ株式会社、トレード・サイエンス株式会社を含む連結ベースでは、営業収益3,155百万円（前年同期比+799百万円 +34.0%）、営業利益373百万円（同+491百万円）、当期純利益305百万円（同+353百万円）となった。
- ✓ マーケット環境の好転に加え、外貨建債券や外国株式の取扱い銘柄数の拡充により収益構造の多様化を進めるとともに、継続的に販促費等の経費を見直した結果、前年同期比、増収増益となった。

(単位：百万円)

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	2,355	3,155	34.0%	799
純営業収益	2,352	3,128	33.0%	776
販売費・ 一般管理費	2,470	2,754	11.5%	284
営業利益	△117	373	-	491
経常利益	△97	450	-	547
特別損益	△0	△0	-	0
税引前当期純利益	△97	450	-	547
法人税等合計	△49	145	-	194
当期純利益	△48	305	-	353

(単位：百万円)

2023年3月期				2024年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
2,355	2,523	2,239	2,474	3,155
2,352	2,513	2,235	2,467	3,128
2,470	2,427	2,211	2,283	2,754
△117	86	23	183	373
△97	98	23	181	450
△0	△0	△33	△7	△0
△97	97	△10	174	450
△49	32	4	57	145
△48	64	△15	116	305

◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、1,439百万円（前年同期比+722百万円 +100.8%）と増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は、1,011百万円（同+573百万円 +130.8%）と増加した。募集・売出手数料は、投資信託販売の増収（同+118百万円 +115.3%）により、286百万円（同+139百万円 +94.2%）と増加した。

（単位：百万円）

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	716	1,439	100.8%	722

委託手数料の主な内訳				
株券	438	1,011	130.8%	573

募集・売出手数料の主な内訳				
債券	43	63	44.7%	19
投資信託	102	221	115.3%	118

その他の受入手数料				
信託報酬	31	51	66.5%	20
アドバイザー報酬	-	-	-	0

（単位：百万円）

2023年3月期				2024年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
716	857	981	1,125	1,439

438	511	640	771	1,011
-----	-----	-----	-----	-------

43	49	10	20	63
102	135	148	153	221

31	42	42	49	51
-	10	-	13	-

◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、1,684百万円（前年同期比+57百万円 +3.5%）と僅かに増収となった。
- ✓ 外国株式の販売高が増加したことで株券トレーディング損益が293百万円（同+263百万円 +883.7%）、債券トレーディング損益が1,310百万円（同△268百万円 △17.0%）となった。仕組債の販売体制の整備を前四半期より開始した結果、仕組債の販売高が前年同期比△46.4%減少したが、外貨建て債券の取扱銘柄数増加等により取引利便性を向上させ、販売高は前年同期比+138.7%増加しており、仕組債の販売高減少をおぎなった。

（単位：百万円）

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	29	293	883.7%	263
債券・為替等	1,597	1,391	△12.9%	△206
（債券等）	1,578	1,310	△17.0%	△268
（為替等）	18	80	331.8%	62
合計	1,627	1,684	3.5%	57

（単位：百万円）

2023年3月期				2024年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
29	39	55	205	293
1,597	1,607	1,186	1,125	1,391
1,578	1,589	1,176	1,097	1,310
18	17	10	28	80
1,627	1,646	1,242	1,330	1,684

◆部門別純営業収益推移

【リテール部門】

✓ 部門収益は678百万円(前年同期比+226百万円 +49.9%)の増収となった。主な内訳として、株式売買手数料が184百万円(同+74.8%)、債券トレーディング損益が133百万円(同+26.9%)、投信販売手数料が79百万円(同+64.7%)といずれも増収となった。

【IFA部門】

✓ 部門収益は2,313百万円(前年同期比+457百万円 +24.6%)の増収となった。好調なマーケット環境の中、株式売買手数料が前年同期比659百万円(同+251.6%)の増収、投信販売手数料が同111百万円(同+131.6%)の増収となった。債券トレーディング損益が前年同期比△324百万円(同△21.6%)の減収となったのは、前四半期より仕組債の販売基準の見直しを行った影響だが、うち外貨建て債券のトレーディング損益は前年同期比+436百万円(同+239.6%)の増収となっている。

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
純営業収益	2,352	3,128	33.0%	776
リテール	452	678	49.9%	226
IFA	1,857	2,313	24.6%	457
その他	43	137	216.8%	94

2023年3月期				2024年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
2,352	2,514	2,235	2,467	3,128
452	487	491	542	678
1,857	1,980	1,691	1,789	2,313
43	47	53	136	137

※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

◆販売費・一般管理費

- ✓ 販管費は、2,754百万円（前年同期比+284百万円 +11.5%）と増加した。
- ✓ 固定費は減少となる一方、収益に連動した費用が増加したことで、変動費が333百万円増加したことが主な要因。

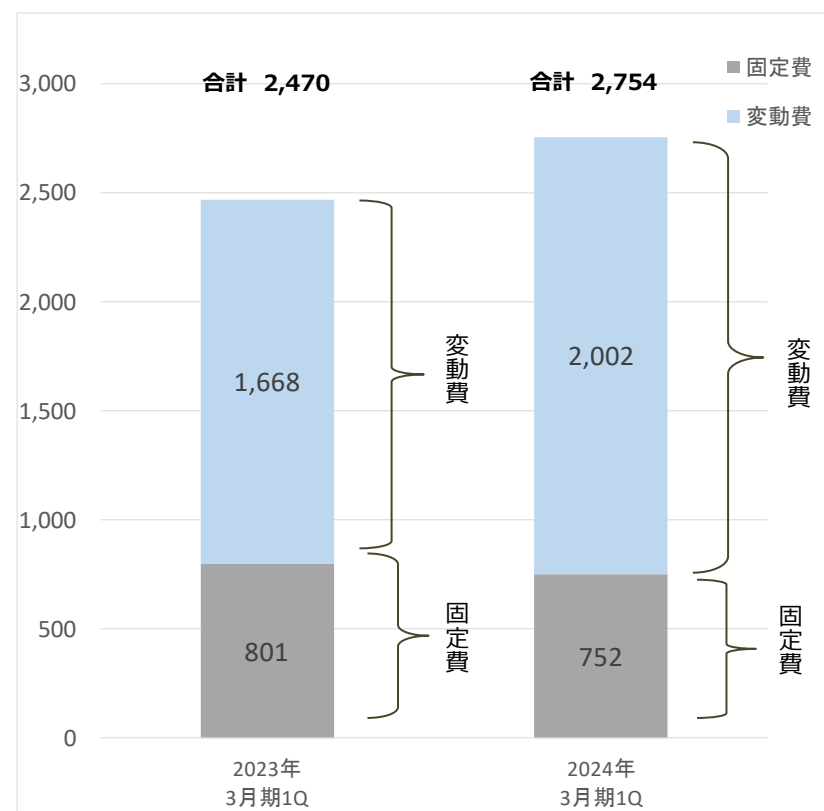
(単位：百万円)

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	1,560	1,724	10.5%	164
人件費	597	675	13.2%	78
不動産関係費	116	96	△17.7%	△20
事務費	137	197	43.6%	59
減価償却費	25	23	△8.9%	△2
租税公課	13	21	56.5%	7
雑費その他	18	16	△14.5%	△2
販売費・一般管理費計	2,470	2,754	11.5%	284

(単位：百万円)

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	801	752	△6.1%	△48
変動費	1,668	2,002	20.0%	333

(単位：百万円)



◆貸借対照表

- ✓ 資産は現金・預金が6,553百万円、預託金が5,162百万円増加したこと等により前期末より12,833百万円増加した。
- ✓ 負債は預り金が6,986百万円、短期借入金が4,600百万円増加したこと等により12,528百万円増加した。
- ✓ 純資産は四半期純利益の増加により、305百万円増加し、6,841百万円となった。

	2023年3月期	2024年3月期1Q	前年度末比 増減額
流動資産	25,780	38,602	12,822
現金・預金	4,331	10,884	6,553
預託金	15,537	20,700	5,162
信用取引資産	4,039	4,467	427
その他流動資産	1,871	2,550	679
固定資産	1,412	1,423	11
資産合計	27,192	40,026	12,833

	2023年3月期	2024年3月期1Q	前年度末比 増減額
流動負債	20,139	32,660	12,521
信用取引借入金	3,444	3,748	304
預り金	14,177	21,163	6,986
短期借入金	100	4,700	4,600
受入保証金	1,123	1,419	296
その他流動負債	1,294	1,629	334
固定負債	489	497	7
特別法上の準備金	27	27	-
純資産	6,536	6,841	305
株主資本	6,526	6,832	305
新株予約権	9	9	-
負債純資産合計	27,192	40,026	12,833

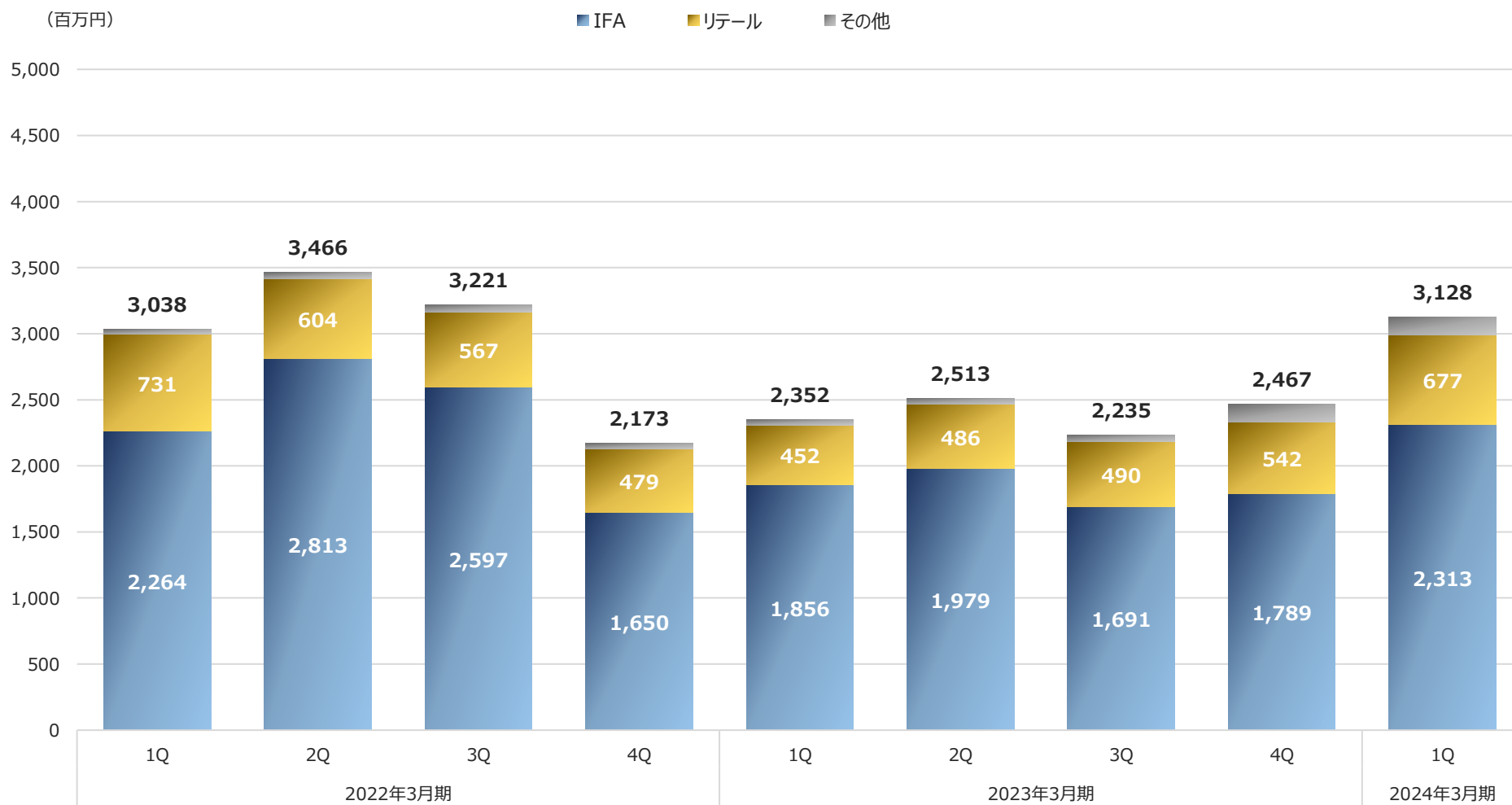
◆自己資本規制比率の状況

	2022年3月期				2023年3月期				2024年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
自己資本規制比率(%)	457.0	453.2	475.2	468.3	457.5	456.4	462.0	428.7	412.2
控除後自己資本	5,026	5,055	5,104	4,958	4,743	4,852	4,835	4,917	5,215
リスク相当額	1,099	1,115	1,073	1,058	1,036	1,063	1,046	1,146	1,265
市場リスク相当額	50	53	23	24	20	7	8	78	78
取引先リスク相当額	104	109	95	86	84	121	103	140	234
基礎的リスク相当額	944	953	955	948	931	934	934	928	952

3. 業績の推移について

◆純営業収益の推移（部門別）

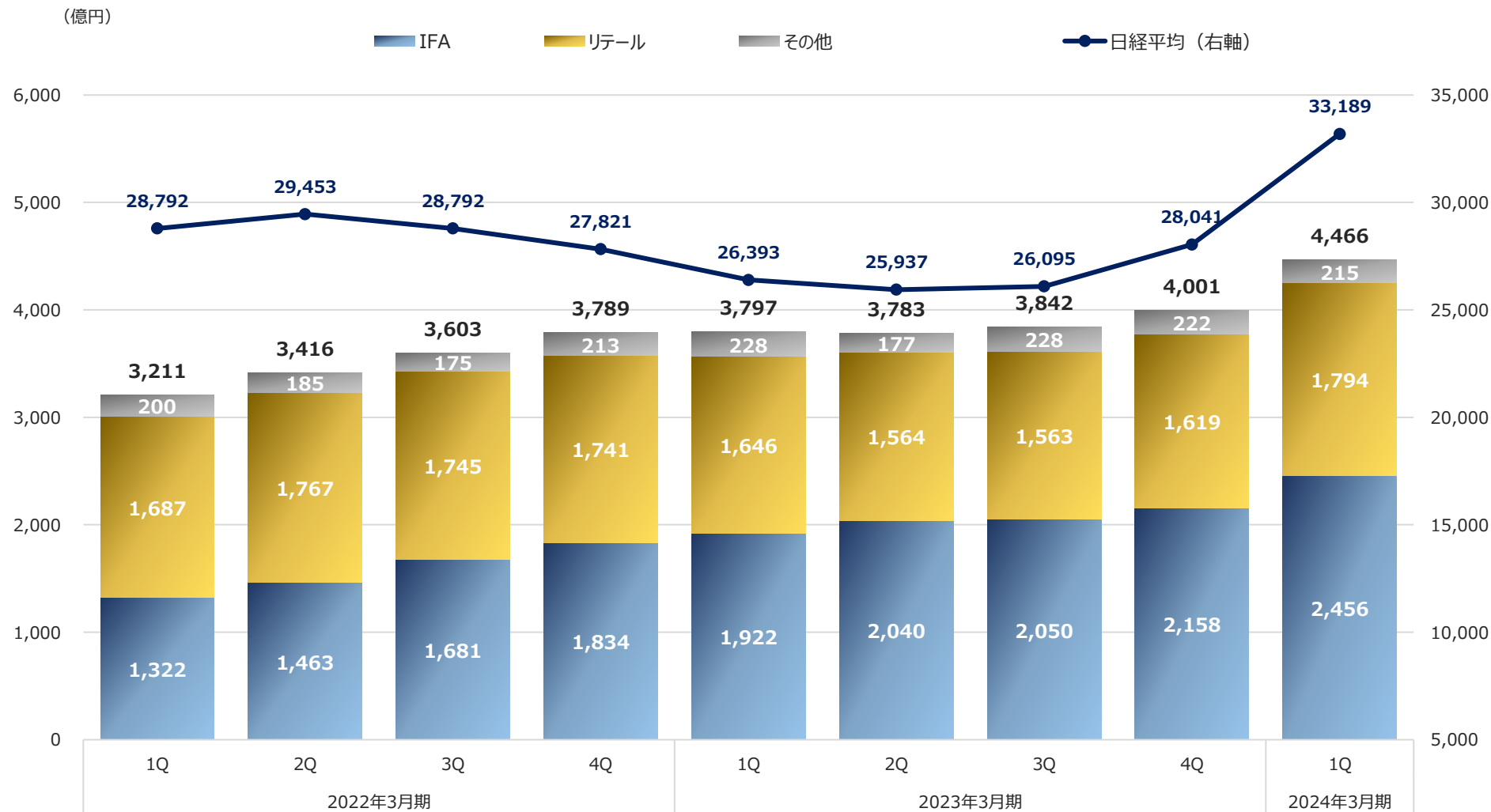
✓ 当第1四半期における当社の純営業収益は3,128百万円となり、前四半期に比べ増収となった。



※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

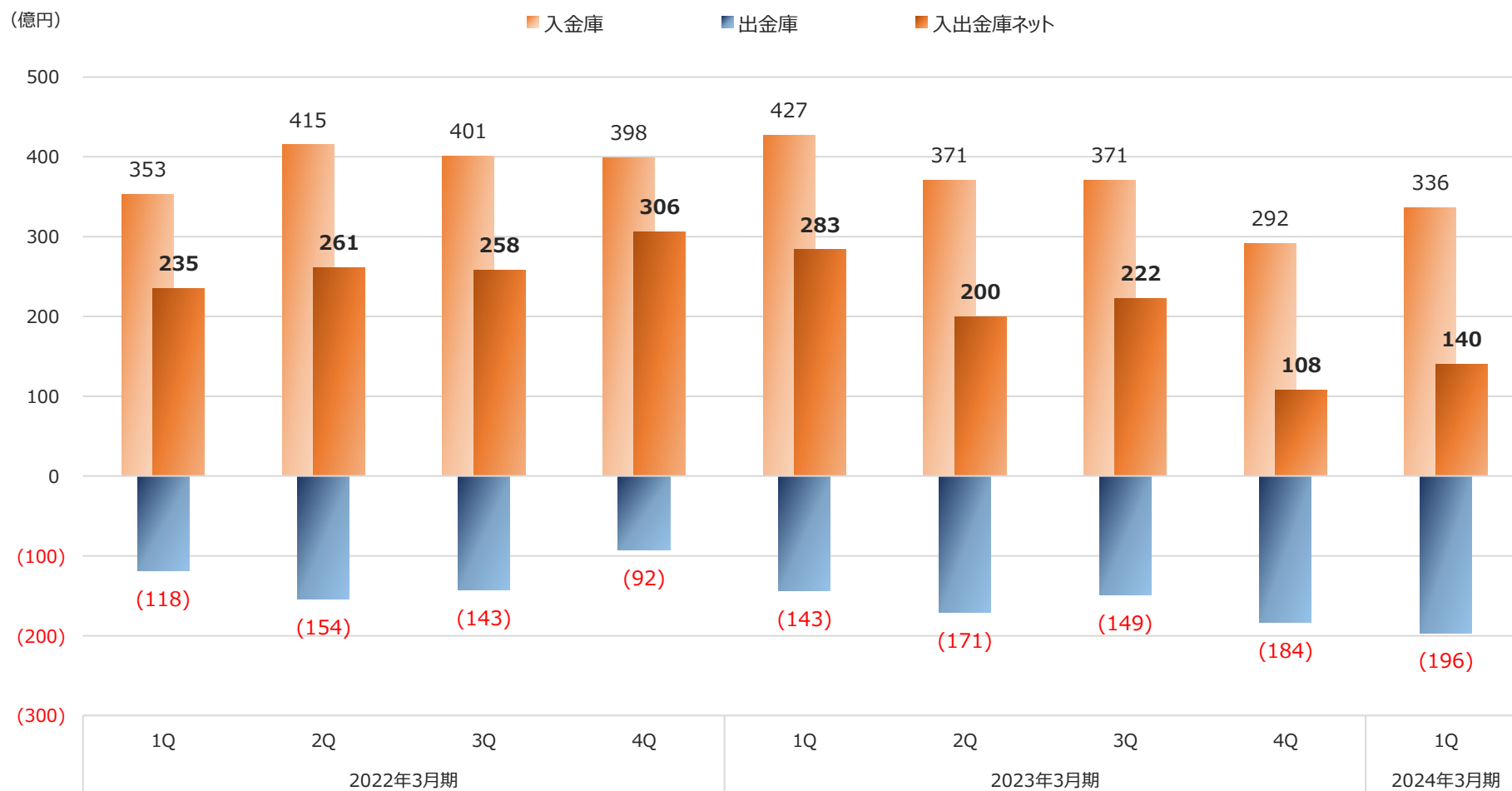
◆ 預り資産残高の推移（部門別）

✓ 預り資産残高は、過去最高の4,466億円を達成。IFA部門の伸びにより堅調に推移している。



※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。
 IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

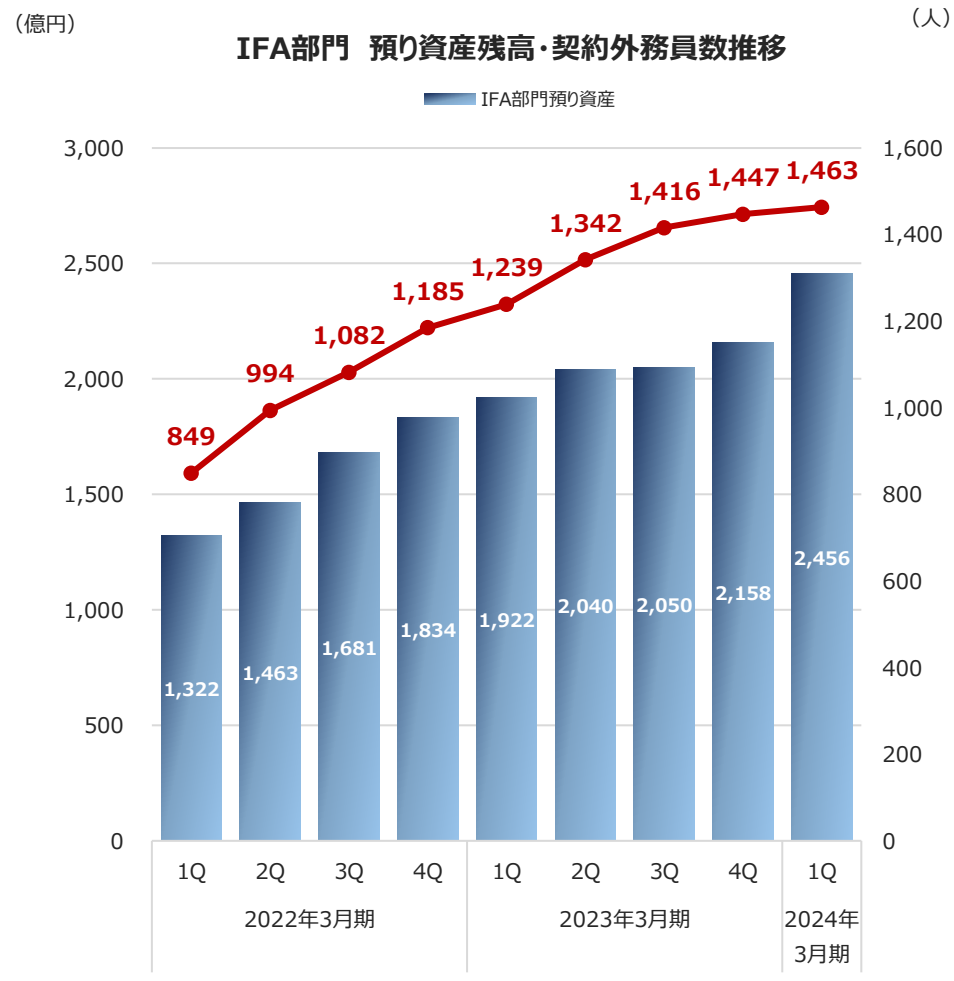
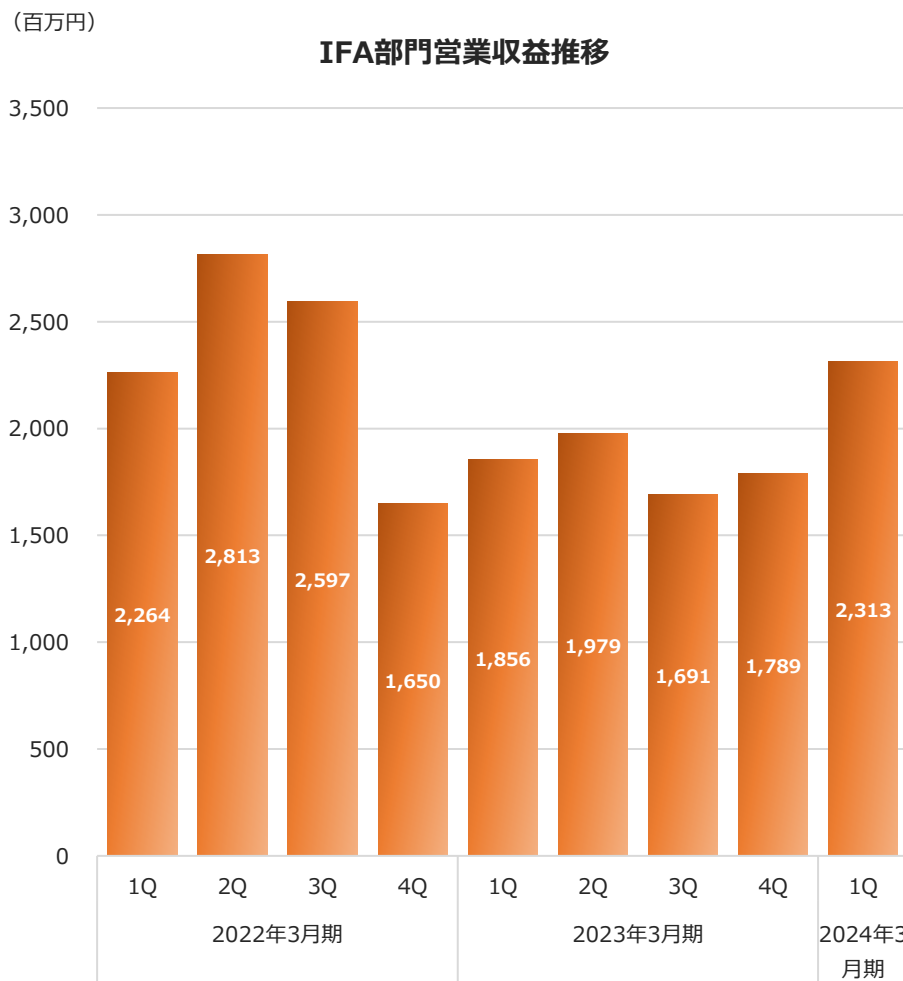
◆入出金庫額の状況



※顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの

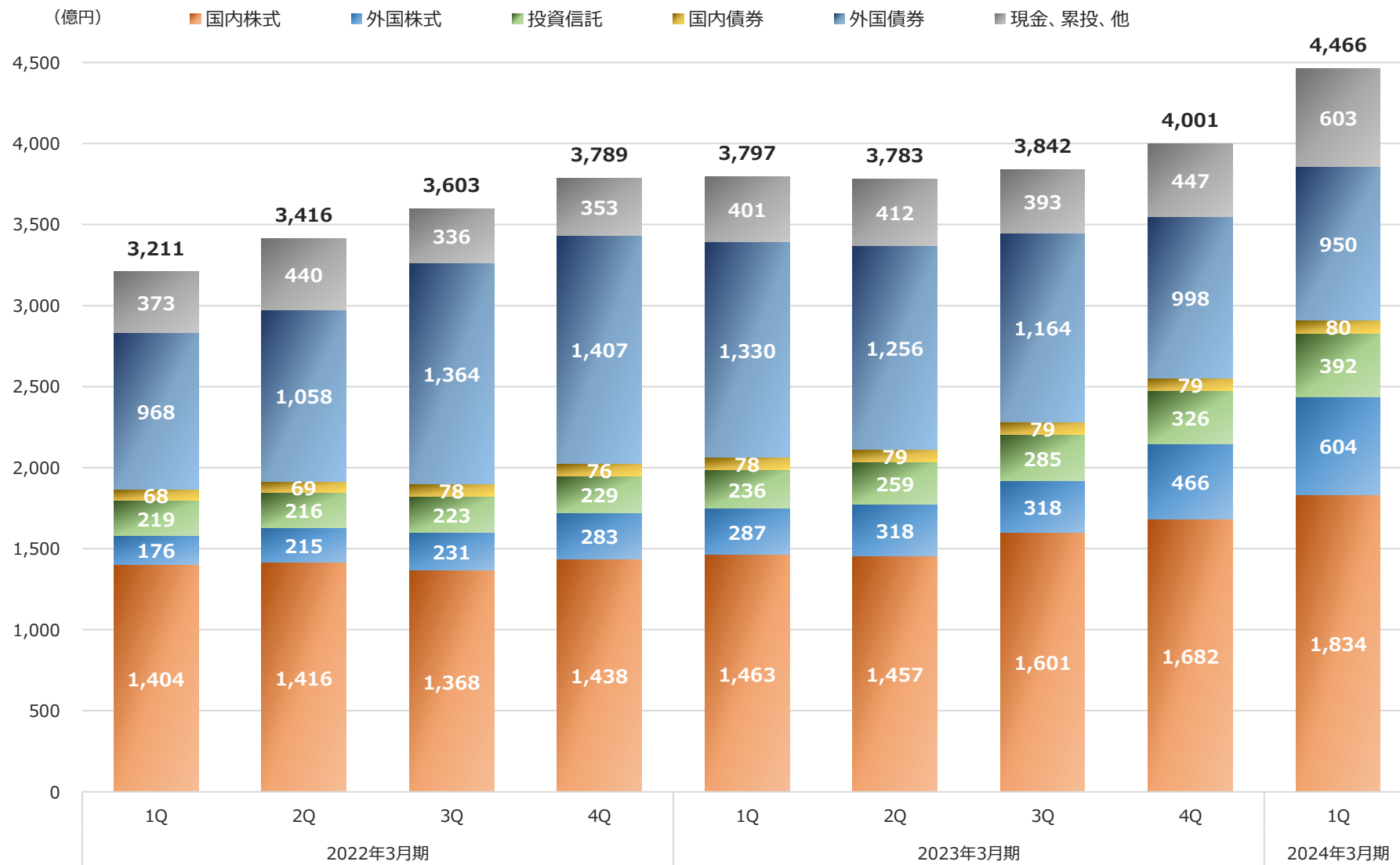
◆金融商品仲介（IFA）ビジネスについて

✓ 当第4四半期のIFA部門の営業収益は2,313百万円。（前四半期比+524百万円 +29.2%）契約仲介業者外務員数は1,463名（同+16名）、IFA部門預り資産残高※は2,456億円（同+298億円）と順調に拡大している。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。IFA部門の実績は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

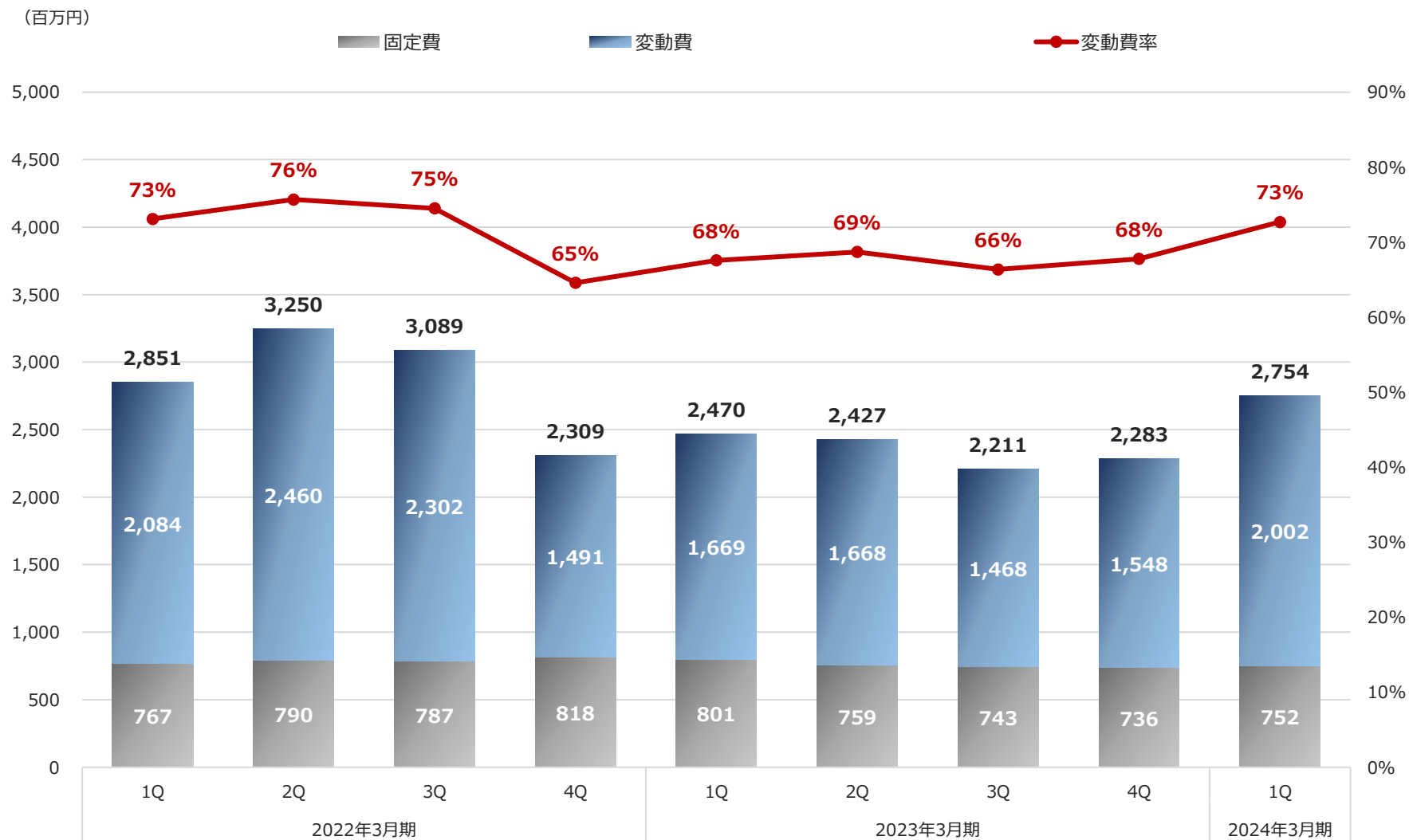
◆ 預り資産残高の推移 (商品別)



※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆ 販管費及び変動費率の推移

✓ 当第4四半期における当社の販管費は2,754百万円となり、販管費に占める変動費率は73%と引き続き高水準を維持している。

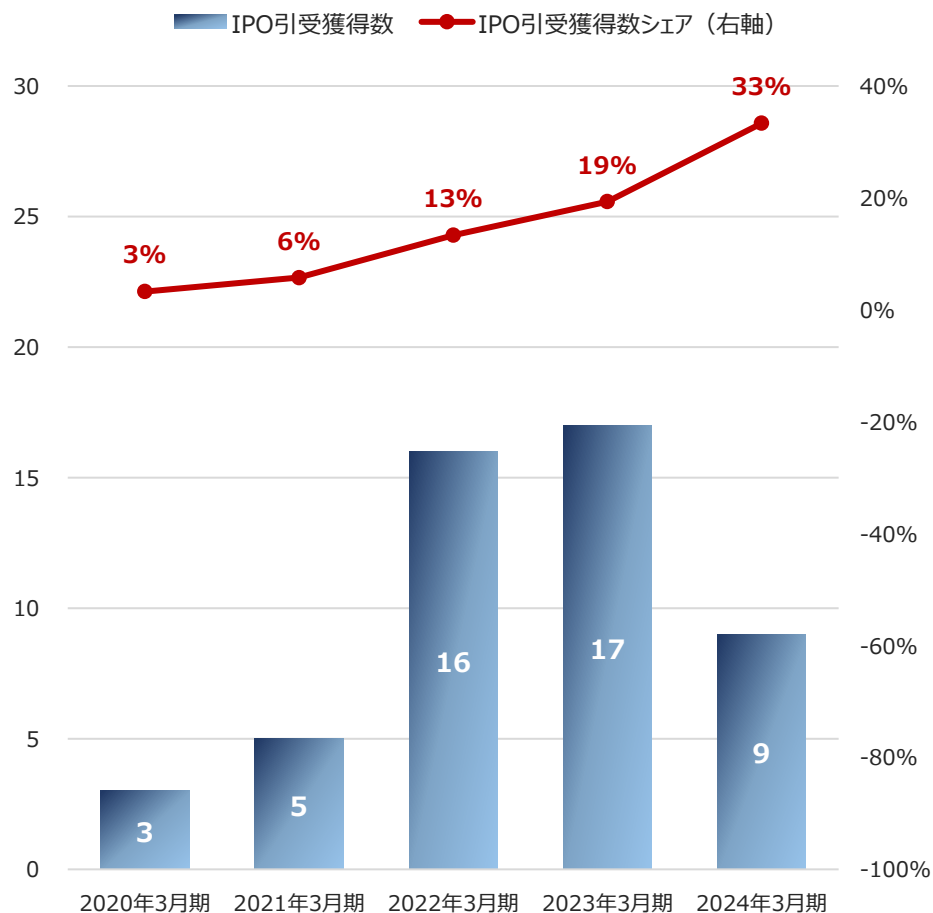


◆IPO市場への取り組み

➤ IPO市場での引受獲得数シェアの上昇

投資銀行部門はベンチャーファンドを通じたIPO展望企業へのシードマネーの供給や、独自の営業リレーションをつかって引受に参画。当第1四半期は市場全体でのIPO27社のうち当社獲得件数は9社、シェアは33%と前期比+14%上昇となった。

(件数)



IPO引受獲得数ランキング 2023年4月～6月

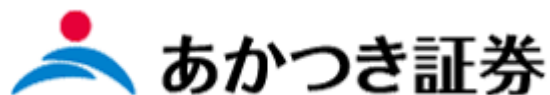
順位	引受会社	件数	シェア
1	SBI証券	26	96%
2	松井証券	22	81%
3	マネックス証券	17	63%
4	楽天証券	16	59%
5	SMBC日興証券	14	52%
6	野村証券	13	48%
7	みずほ証券	12	44%
8	岡三証券	11	41%
9	大和証券	10	37%
10	あかつき証券	9	33%

◆本資料に関して

本資料は、2024年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2023年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本 社：東京都中央区日本橋小舟町8-1
商 号 等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 財務経理部
TEL：03-5641-7800
URL：<https://akatsuki-sc.com>